

木協通信

第56号
発行年月日
平成30年1月1日
日田市南友田100-1
日田木材協同組合
総務企画委員会発行
TEL24-2167

★日田木材協同組合百年を語る

日田郡木竹商共算組合規約書

第二章 営業目的

第十八条 途中売の物品にして若し営業所又は出張所地区に輸送せし時は第十一条、第十二条、第十三条の規定に依り取扱いを為すものとす

但し本条の場合は営業所支配人より証明書を受取り、先に納めたる補助費を会議所へ返付の請求を為すべし。会議所は事実確定の上は直ちに返付すべし

第十九条 営業所又は出張所の地区に輸送する物品にして若し途中売を為したる時は第十条の規定を適用す

第二十条 前数条を違反したる者は筏一枚、船一艘に対し金二円以上一〇円以下の違約金を差出さしむべし

次号へ続く

★新年のご挨拶



日田木材協同組合
理事長
瀬戸 亨 一郎

明けましておめでとうございます。

本年は、日田木材協同組合にとりまして4箇所目の移転が着々と実行に近づいております。

事務所棟に続き、倉庫棟が2月末には完成の予定でございます。3月には全体の移転が完了し落成式も計画いたしております。その節は、ご臨席賜りますようお願いいたします。

一昨年ご報告しました通り、友田の跡地は移転完了次第、中央発条工業様に賃貸する予定です。また長年駅前の土地を賃貸いただいておりますサンリブ様より突然の撤退の申入れがあり、皆様にご心配をかけたましたが、各方面のご協力により新しい賃貸先がドラックストアモリ様に決定いたしました。新店舗は、解体が本年6月までかかりますので、7月より着工し11月には開店の予定とお聞きしております。

移転に伴いまして大きな投資を実行させていただきましたが、この2件の賃貸収入により安定した組合運営が可能となることを期待しております。

さらに長年かかりました恵良土場の埋立工事も昨年末に完了し、賃貸に供することができるようになりました。本年はこの賃貸先も探したいと思っております。結びになりましたが、従来の組合事業に

おきましても組合員皆様のご協力に感謝を申し上げます。新年が組合並びに組合員の皆様にとりましてよい年にさせていただきます。

★平成29年度業主視察研修を終えて

総務企画委員長 諫本初美

平成29年11月17日（金）から1泊2日の日程で、一行16名により佐賀・福岡方面に研修に行ってきましたので概要をご報告します。

最初に昨年佐賀県唐津市に完成しました、プレカット工場の「ポラテック西日本株式会社」を視察しました。ポラテックはポラグループの一員であり、他にポラス（株）、中央住宅から構成されており、2016年度の売り上げは2,559億円となっています。

創業者の中内俊三氏は、四国の徳島県出身であり、バナナのたたき売りで財を成した。

その頃、家を作ろうと思ったが、良い工務店がなかったため、自分で工務店を立ち上げた。当初は請負で実施していたが、クレームに対処するため、自分達で家を建てることにした。35年前に自ら加工をするために、プレカット工場を立ち上げ、現在は、全国に11社のプレカット工場がある。佐賀工場は計画では、2020年に建設を予定していたが、熊本・大分で震災が発生し、その復旧を応援するため、前倒しをして建設した。九州に工場を建設したのは、大分・鹿児島・長崎の九州出身者が多く働いていることも一因である。また、日田林工出身者も多く、佐賀工場にも3名いる。

住宅の供給では、埼玉県に1区画1,200棟の建て売り団地を建設した。その効果では、地価が上がる、人口が増える、学校が建つ、駅が出来るなどの貢献をしている。戸建て分譲住宅はドイツ風、スペイン風、純和風など好みに合わせて建設しており、価格は4,000万円から6,000万円であるが、抽選となる。



技術の研鑽では、大工を養成するため、訓練校を設立しており、これまでに700名が育った。また、設計等に責任を持って当たっており、一級建築士が270名いる。

地域に密着した建物作りでは、アフターの出来る範囲に限定し、千葉県、埼玉県のみで年間4,000棟の家を建設している。プレカットの能力は、全国で毎月5,000棟分作ることが出来る。1ラインで1棟1時間で出来る。生産量の5%を自社で使い、他は同業他社へ供給している。製造価格を聞いたが、営業との関係があるとのこと、教えてもらえなかった。今後九州にもう1工場を建設するとのことであり、日田に建ててもらおうよう要望した。説明の後、工場を見学させて頂いた。

工場内は綺麗に整理・整頓されており、これからの雇用対策の一環としてロボットも開発・使用していた。みっちり2時間、畑中工場長から説明等をいただき感謝申し上げます。

佐賀工場を跡にして、相撲観戦に向かいました。間近で見る力士は大きく、取り組みは臨場感があり、あっと言う間に時間が過ぎました。残念ながら大分出身の嘉風関は負けてしまいました。

二日目は世界遺産に指定された宗像神社にお参りしました。以前行った時より、大勢の人が参拝にいられていました。木材産業の振興を願ってお祈りをしました。

駆け足の二日間でしたが比較的に天候にも恵まれ、有意義な時間を過ごせました。参加されました皆様に感謝申し上げますとともに、今後も多くの組合員のご参加をよろしく願います。



【国際センター前にて】

★組合所有林の視察

木協の所有する五馬山と前津江山の視察を12月9日（土）に役員、職員で実施致しました。

先ず、ウッドコンビナートへ新事務所の建築現場を視察して、河津建設㈱に工事状況を伺いました。九州北部豪雨のために人手が取られ、スケジュールが押している状況でした。

続いて五馬山へ、通称五馬山は、天ヶ瀬町本城に位置しております。全面積十二万七千六百八十八㎡（約13ha）で平成27年に面積の約10ha程度を間伐しています。山林現場の図面を見ながら位置や境界の確認を行



【新事務所工事状況の視察】



いました。

前津江山は、前津江村大字赤石に位置し、全面積十九万七千八百七十四㎡（約20ha）有ります。平成16年の台風により約6.5haが被災し、台風災害の補助事業を活用し平成18年に再造林を行って、現在11年生となっています。

当日、前津江山は雪が深く前津江山入口にて下山しました。



【五馬山にて】



【前津江山にて】

★第2回販売会議

共販委員会主催による第2回販売会議を12月15日に開催致しました。

製品担当より、11月までの販売状況と乾燥加工の実績報告を行い、次に 林業・木材産業「最近の話題」と題しまして日田市農林振興部 林業振興課 橋本課長より講話をいただきました。

橋本課長は、7月の北部豪雨の災害の件、森林環境税、林業成長産業化へ向けての取り組み、東京オリパラの選手村への木材提供等、沢山の情報提供をしていただきました。後は、懇親会にも同課五藤総括とも参加していただき、貴重な時間となりました。



★わが町再発見バスツアー

ひた産業観光推進協議会は、昨年の産業観光フォーラムに続き、市民向けモニターツアーとエージェント向けモニターツアーが行われています。市民向けコースは市民を対象に、エージェント向けは、旅行会社・旅行代理店を対象に、日田の産業資源を観光に取り入れてもらい、魅力ある町づくりを目指しています。

両コースとも、日田杉資料館の視察が組み込まれています。



【日田杉資料館にて】



【トライウッドにて】

★駅前組合所有地について

サンリブの跡地について、11月16日に臨時役員会を開催し、㈱ドラックストア モリからの賃貸借契約を締結いたしました。20年間の定期借地で11月オープン予定です。



【契約書の調印】



【解体中のサンリブ】

★日田市政功労者受賞

日田市では、毎年「文化の日」に市政の興隆発展に多大な功績のあった人を日田市政功労者として表彰しています。

今年は、日田木材協同組合第十七代理事長武内光太様が受賞致しました。心からお祝い申し上げます。

★商工従業員表彰

11月22日、商工祭にて商工従業員表彰が行われました。組合員従業員では下記の方々が表彰されています。

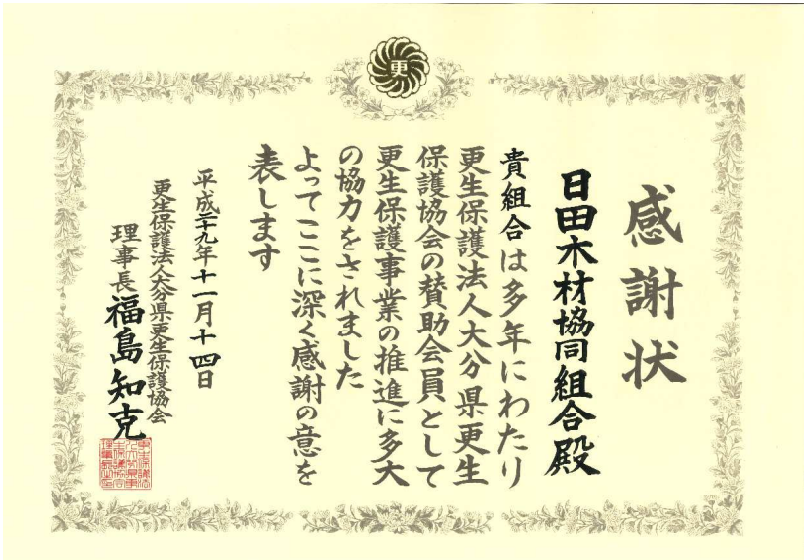
㈱マルミヤ	伊藤 功	30年
㈱安心院製材所	長谷秀広	25年
㈱佐藤製材所	溝口賢一	20年
㈱井上製材所	信岡孝則	20年
㈱安心院製材所	金子 翔	15年
㈱安心院製材所	中島優志	10年
㈱安心院製材所	河津嘉将	10年

㈱佐藤製材所	村野聖王	10年
㈱佐藤製材所	梅田佳和	10年
㈱佐藤製材所	江田俊宏	10年
㈱佐藤製材所	金崎敬宏	10年
㈱井上製材所	小倉庄八	10年
㈱安心院製材所	寺上和敏	5年
㈱カネサダ横尾木工所	井上蒼亜羅	5年
㈱深津製材所	原田英樹	5年
㈱マルミヤ	衛藤 勝	5年

★大分県更生保護協会より感謝状

11月14日、ホルトホール大分にて第40回大分県更生保護大会が開催され、当組合が大分県更生保護協会理事長感謝状」を授与しました。

当日は、公益社団法人大分被害者支援センター理事会 三井嘉雄様が 弁護士からみた被害者支援」と題し講演会が催されました。



★お知らせ

○木材製材業安全衛生管理研修会

日田木材協同組合では木材製造業における自主安全衛生活動促進の一環として、日田労働基準監督署等のご協力を頂き、下記日程にて研修会を開催いたしますので、ご参加を賜りますようお願い申し上げます。

日 時 平成30年2月7日

午後一時より約1時間

場 所 日田木材協同組合2階大会議室

講 師 安全衛生士 石川幹靖 氏

テーマ 製材業における事故の事例と未然防止について

○平成29年度木づかい促進事業

木づかい促進事業の受付状況は12月末時点で、新築90棟（90棟分中）、リフォーム122棟（180棟分中）です。

また、九州北部豪雨により住宅等が被害を受け、建替えや修繕を余儀なくされた被災者に対しては、生活再建のため優先的に木材等が支給されます。

事務局 日田木材協同組合 小関・川原